

市民まつり「習志野きらっと 2019」に参加しました ワークショップやサンバ踊りで NIA をアピール

清水繭子（国際交流部会）

7月14日曜日、習志野市で一番大きな市民まつり「習志野きらっと 2019」に参加しました。

朝から降っていた雨で中止も疑われましたが、決行と判断されたので国際交流協会(NIA)のブースの準備を始めました。

今年も主に姉妹都市タスカルーサ市との交流事業および NIA 活動の PR を行いました。広報部会は交流事業のパネルを展示、国際交流部会は首からかける「かき氷模様のうちわ」を作るクラフトワークショップの開催、NI-youth は、今までの活動をまとめたアルバムの展示と、模造紙に描かれた笹の葉にメッセージを書いてもらう七夕イベントを行いました。

10時から15時の間で、100名に近い市民の方々がブースに来てくださいました。中には国際交流に興味を持ち、話を聞きに来てくださった方も多数いらっしゃいました。ワークショップに参加してくれた子どもたちの楽しそうな笑顔も印象的でした。

夕方には雨もほぼやみ、文化交流部会を中心に10名ほどの会員でサンバの踊りの練習がサンロード6階で行われました。お揃いの色鮮やかな花の髪飾りをつけて、手にはボンボンを持ち、NIAの真っ赤な法被をきて心の準備も万端です。19時を過ぎると外は暗くなってきました。京成津田沼駅から市役所までの大通りも今夜はパレードのために交通規制され、増えた外灯と沿道のたくさんの市民の方々がパレードを盛り上げてくれます。そして、いよいよNIAチームのパレードがスタートしました。皆さんリズムに合わせて踊り、楽しそうでした。沿道の子も私たちと一緒に踊ってくれました。華やかなサンバパレードでした。

今日一日、広報部会、国際交流部会、文化交流部会、日本語教室部会から多くの会員の皆さんが参加されました。また多くの市民の皆さんとも交流することができ、国際交流協会のPRができたと感じます。参加された皆様、事務局の皆様お疲れさまでした。



ワークショップでうちわ作り



来場者に活動を説明

この日の NIA サンバチーム



サンバダンスで大通りをパレード

